

「自分らしい生き方を送りたい！」

「田舎暮らしに憧れている！」

という理由から、近年急増している地方移住。

2023年度、こおりやま広域圏では地方移住を見据えた方向けの「地域体験ツアー」を夏ツアー3回、秋ツアー3回の計6回開催。多くの参加者がこおりやま広域圏各エリアの魅力を体験、感じていただきました。

こおりやま広域圏内での旅を楽しみながら移住に役立つ情報入手や人との繋がりも築くことができた、夏コースの1つを紹介いたします。

① 猪苗代湖に岩瀬牧場！福島をまるっと体験！【猪苗代町・鏡石町コース】

2023年7月27日(木)～28日(金) 1泊2日

1日目

9:30 郡山駅発

10:30～11:30 キックオフ ツアーの詳細説明と他県から猪苗代町に移住した柿崎工房の小林氏の講話(nowhere)※¹

12:00～13:00 昼食(いわはし館)

13:20～15:30 猪苗代水質改善プログラム※²

15:45～17:00 磐梯山観光推進プロジェクト協会の鈴木氏と交流会(かめ丸)

17:15 宿舎着(猪苗代民泊 あるばいんロッジ)

※¹ツアーの意図の共有と移住についての講話

※²移住者の長友氏による水草(菱)清掃体験と講話

2日目

9:00 宿舎発

9:50～13:00 鏡石交流会・昼食(田んぼアート見学・岩瀬牧場散策)

13:30～14:00 鏡石まちの駅かんかんてらす

14:40 郡山駅着

体験内容

○雄大な自然と地域の課題に向き合う「猪苗代水質改善プログラム」



セミナー会場にて「ヒシ」を新たな観光資源として活用するプロジェクトについて学びました。案内していただいたのは今回のツアーのキーマンである長友海夢(ひろむ)さん。長友さんは2020年に地域おこし協力隊員として猪苗代町に移住し、昨年7月には自らの会社「株式会社いなびし」を立ち上げ充実したワークライフスタイルを叶えました。

福島県を代表する観光スポットでもある猪苗代湖。実は近年、その水質悪化が問題となっています…。

原因の一つとなっている水草の「ヒシ」の清掃体験を行いました。実際に胴長靴をはき、猪苗代湖に胸までつかり駆除体験。



「ヒシ」を活用した菱茶を自分たちで焙煎、菱茶を堪能しました。天候にも恵まれ絶景の中で体験できました。



○猪苗代湖の観光船で地元の人たちとの交流を深める

以前は観光船でしたが、昨今は東北唯一の船上レストランとして活躍する猪苗代湖の観光船「かめ丸」で交流会！磐梯山観光推進プロジェクト協会の鈴木氏をはじめ、地元の方、参加者同士が直接コミュニケーションを取ることで移住に向けての具体的なイメージを膨らませることができたのでは。



○唱歌“牧場の朝”のまちを舞台にした、自然のアートに癒される

2日目に訪れた鏡石町の岩瀬牧場は、実は日本初の西欧式国営牧場。140年もの歴史があり、唱歌「牧場の朝」が生まれたのどかな自然が魅力です。また、牧場内にトウモロコシの巨大迷路には炎天下ではありましたが子どもと参加された方々が堪能されていました。

岩瀬牧場での散策や、鏡石町地域おこし協力隊の小柳拓未さん・比呂さん夫妻（鏡石町本町271の空き店舗を改修し、地元の食材を活用した飲食店「poco a poco（ポコ・ア・ポコ）」を11月14日にオープン）と情報交流しながらのバーベキューランチ。参加者がソフトクリームを「今まで食べた中で一番！」と絶賛していました。



近隣で鏡石町自慢の田んぼアートも見学。今の時期にしか見ることができない、小さな苗が作り出す大きな農芸術も見学。



大変暑い時期のツアーとなりましたが、猪苗代湖があり避暑地でもある猪苗代町、また唱歌牧場の朝のモデルとなった「岩瀬牧場」がある鏡石町。参加者は炎天下も苦にせず各プログラムを積極的に参加しておりました。
ぜひ興味のある方は訪れてみては！

